



各 位

2026年5月14日

会社名 株式会社 精工技研  
代表者名 代表取締役社長 上野 淳  
(コード番号 6834 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役 管理部長 斎藤 祐司  
(TEL. 047 - 388 - 6401 )

## 光製品セグメント 増産用設備投資決定のお知らせ

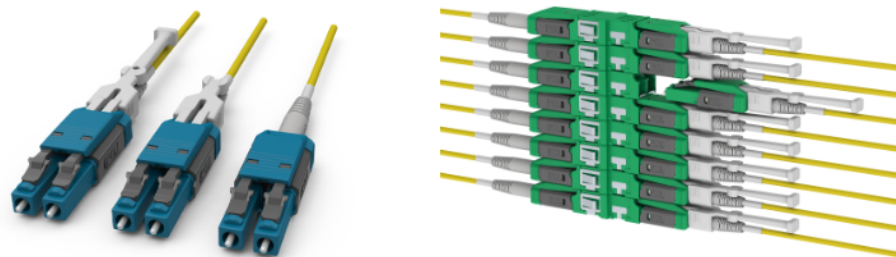
当社グループは、当連結会計年度（2027年3月期）において、データセンター向け光コネクタ部品や光コネクタ研磨機、測定装置といった光製品セグメント各製品をさらに増産するため、以下のとおり設備投資を行うことを決定いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 設備投資の内容

国内本社（千葉県松戸市）においてデータセンター向け光コネクタ「Intelli-Cross® Pro」部品量産用金型、「Intelli-Cross® Pro」自動組立装置等を、中国の子会社 杭州精工技研有限公司において光コネクタの自動研磨装置や3D検査装置、社員用宿舍の拡張等を、フランスの子会社 DATA PIXEL SASにおいて検査装置を生産するクリーンルームの増設等、光製品セグメント全体で総額約1,100百万円の設備投資を行います。これは2026年3月期の光製品セグメント全体の設備投資額592百万円の約2倍に相当する規模となります。

※「Intelli-Cross」は精工技研の登録商標です。



データセンター向け光コネクタ「Intelli-Cross® Pro」



自動研磨装置「SFPS-V1」



光コネクタ研磨機「SFP-560A3C」

## 2. 設備投資の理由

生成 AI の普及に伴い、世界中でデータセンターの建設が進められています。データセンターの内部では、デジタルデータの送受信を行うための莫大な数の光コネクタが使用されます。こうしたことを背景に、国内本社では 2026 年 10 月を目途に、北米のハイパースケールデータセンターに使用される光コネクタ「Intelli-Cross® Pro」部品の生産数量を現在の 5 倍に引き上げる計画です。

また、国内本社で生産している光コネクタ用研磨機は、継続する強い需要に対応するため、2026 年 8 月末までに、生産能力を前期末から 1.5 倍に拡充する予定です。

杭州精工技研有限公司を中心とする中国の子会社では、MT ファイバアレイ等の光トランシーバ用部品の生産量が急増しています。これに対応するため、中国に新設したグループ会社を含めて、200 名以上の有期雇用社員を採用しました。中国の子会社各社では、光コネクタの自動研磨装置や 3D 検査装置等、光部品の量産用設備の導入を予定しています。

光コネクタの端面検査装置を生産しているフランスの子会社 DATA PIXEL SAS では、アヌシーにある本社工場の近隣に新たな工場を賃借しました。2026 年 4 月以降、新たに 11 名を採用し、4 月末時点の従業員数は 48 名体制となっています。新工場ではクリーンルームを設置し、需要が急増している光コネクタ端面検査装置を増産する予定です。

足元では、光コネクタを中心とする光通信関連部品や光コネクタ研磨機、検査装置の受注が引き続き活況です。この傾向は当面続く見通しであり、当社グループは国内本社、中国・フランスの子会社を含めて引き続き生産量の拡大に努めていく方針であります。

以 上